

【今週の注目疾患】

《ウイルス性肝炎》

感染症法において、4類感染症としてA型肝炎及びE型肝炎が、5類感染症として前記の2つを除いたB型肝炎やC型肝炎などが分類されるウイルス性肝炎が規定されている。

A型肝炎及びE型肝炎については、主に汚染された飲食物を介して、その他のウイルス性肝炎*については、主に血液・体液等を介して感染することが知られている。県内医療機関からの届出状況等は以下のとおり。

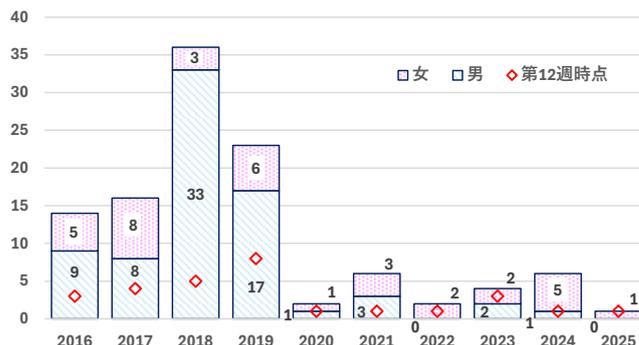
*慢性肝疾患、無症候性キャリア及びこれらの急性増悪例は届出対象に含まない。

○A型肝炎

2025年の届出は1例であり、過去5年と同様に、低い水準で推移している（図1）。

2016年以降に県内で届出のあった110例のうち、約6割の65例が経口感染とされている。経口感染例に係る推定感染地域は、国内42例（うち千葉県は28例）、海外18例、不明5例であった。（重複報告有）

図1：2016年～2025年の県内におけるA型肝炎
性別診断年別届出数（2025年第12週時点）

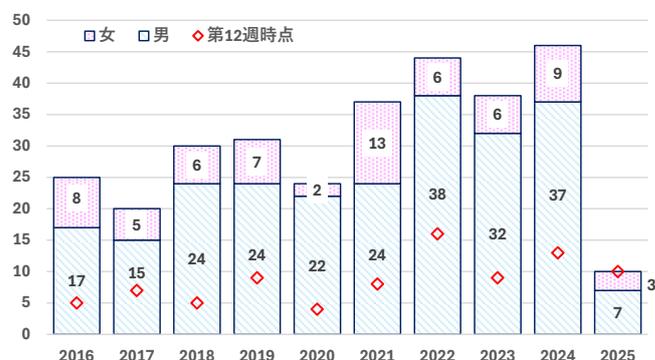


○E型肝炎

2025年第12週に届出が1例あり、累計10例となった。年別届出数は、2016年以降、増加傾向にあり、2024年は最も多くなっていった（図2）。

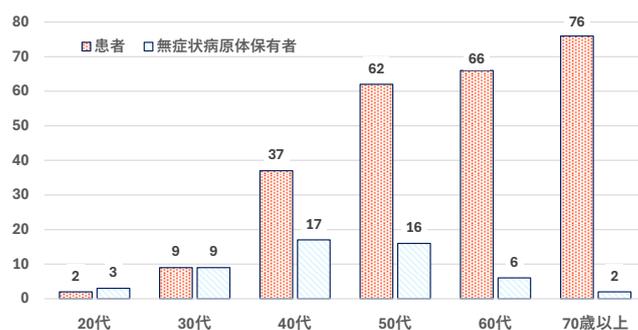
2016年以降に305例の届出があった。性別は、男性240例（78.7%）、女性65例（21.3%）と、男性が多かった。推定感染経路は、132例（43.4%）が経口感染とされており、その推定感染地域は、国内113例（うち千葉県は61例）、海外8例、不明17例であった。（重複報告有）

図2：2016年～2025年の県内におけるE型肝炎
性別診断年別届出数（2025年第12週時点）



診断類型別年齢群別では、患者において、特に50代以降の報告数が多くなっている（図3）。

図3：2016年～2025年の県内におけるE型肝炎
診断類型年齢群別届出数（2025年第12週時点）



【予防のために】

手洗い、飲食物の加熱が重要です。

海外に渡航される際は、特に衛生状態が悪く、飲用水の管理の悪い地域ではリスクが高くなるため、注意しましょう^{1,2)}。

○ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）

2025年の届出は1例である（図4）。

2016年以降に届出のあった110例のうち、B型肝炎が83例（75.5%）、C型肝炎が10例（9.1%）となっており、この2種類だけで9割近くを占める（表1）。推定感染経路では、B型肝炎83例のうち45例が性的接触によるものと、C型肝炎10例のうち1例が医療従事者の針刺し等によるものと報告があるが、不明のものが多い。

なお、登録された原因ウイルスには、2024年に厚労省から注意喚起されているエコーウイルス11型（E-11）2例が含まれている^{3,4)}。

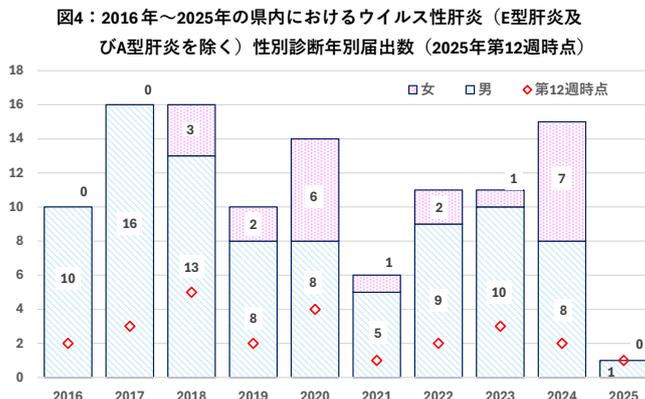


表1 2016年から2025年に県内医療機関から届出のあったウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）の診断年別届出数（2025年第12週時点）

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	合計
B型肝炎	8	13	14	7	13	5	6	8	9	0	83
C型肝炎	0	1	0	2	1	0	3	2	1	0	10
サイトメガロウイルス	2	2	2	1	0	1	1	0	1	0	10
EBウイルス	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	5
エコーウイルス11型（E-11）	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2

【予防のために】

B型肝炎、C型肝炎は血液や体液を通じて伝播・感染するため、他人の血液や体液に接触する機会をできるだけ減らすことが大切です。B型肝炎の場合、ワクチンを接種するのも有効な方法です⁵⁾。

■参考・引用

- 1) 厚生労働省検疫所：A型肝炎
<https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/name01.html>
- 2) 厚生労働省検疫所：E型肝炎
<https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/name02.html>
- 3) 厚生労働省：新生児におけるエコーウイルス11型（E-11）感染症の実態把握について
<https://www.mhlw.go.jp/content/001345107.pdf>
- 4) 日本小児科学会：新生児におけるエコーウイルス11による重症感染症に関する注意喚起
<https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20241211echovrus.pdf>
- 5) 厚生労働省 集団生活の場における肝炎ウイルス感染予防ガイドラインの作成のための研究班：日常生活の場でウイルス性肝炎の伝播を防止するためのガイドライン（一般の方向け）
<https://www.kanen.ncgm.go.jp/content/010/ippan.pdf>